

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年2月19日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐藤 肇
経営サポートセンター
チーフリサーチアドバイザー 本地 央明
担当 深澤 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2019年度（令和元年度） 病院の経営状況に関するリサーチレポートについて

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、2019年度（令和元年度）の病院の経営状況について、リサーチレポートをとりまとめました。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r2/>

リサーチレポートの概要

- 一般病院の医業収益対医業利益率は前年度から0.6ポイント低下し1.2%であった。
- 療養型病院の医業収益対医業利益率は前年度から0.5ポイント上昇し5.7%であった。
- 精神科病院の医業収益対医業利益率は1.2ポイント低下し1.7%であった。
- いずれの病院類型でも2019年10月の消費税増税に伴う報酬改定などを受け患者1人1日当たり入院医療収益は増加していたが、一般病院と精神科病院では人件費などの費用の増加が収入の増加を上回っていた。
- 赤字[※]割合は、一般病院では41.3%で前年度から4.7ポイント拡大しており、ここ数年でもっとも高い水準となった。療養型病院と精神科病院では赤字割合は縮小しており、療養型病院は3.2ポイント縮小し20.8%、精神科病院は0.7ポイント縮小し27.0%であった。

※経常増減差額が0以上の施設を黒字施設、0未満の施設を赤字施設と定義

以上